

現在分詞/過去分詞の活用法

現在分詞の活用法

現在分詞とは下記に示すように「原形動詞+ing」の言葉で、名詞あるいは形容詞または副詞として使う事が出来る単語です。名詞/形容詞/副詞としての使い方をそれぞれ例文を使って説明していきます。

原形	現在形	過去形	* 過去分詞	* 現在分詞
be	am/is/are	was/were	been	being
go	go	went	gone	going
write	write	wrote	written	writing
break	break	broke	broken	breaking
make	make	made	made	making
drive	drive	drove	driven	driving
get	get	got	got/gotten	getting
hit	hit	hit	hit	hitting

★ 名詞的用法 (現在分詞を名詞として使う)

「～すること」のような名詞的表現をするための使い方(これを動名詞と呼ぶ)

例1) **Playing tennis** is my hobby. テニスをする事が私の趣味です。

例2) I know **speaking English** is very important for me. 英語を話す事は私にはとても重要なスキルです。

★ 形容詞的用法 (現在分詞を形容詞として使う)

名詞の直前、あるいは直後に置いてその名詞を説明する形容詞として使う

例3) I saw **a flying bird**. 私は飛んでいる鳥を見た。

例4) I saw **a bird flying toward the mountain**. 私は山に向かって飛んで行く鳥を見た。

上記の例3)のように名詞(bird)を説明する形容詞が一語(flying)の場合は名詞の直前に置きますが、例4)のように二語以上(flying toward the mountain)の場合は名詞の直後に置きます。名詞とそれを説明する形容詞は決して離さず前後どちらかに隣り合わせに置かなくてはなりません。

★ 副詞的用法 (現在分詞を副詞として使う) [* 副詞とは動詞と形容詞を説明する言葉]

主に、動詞の後に、あるいは動詞+目的語の後にこの現在分詞を置いて副詞の意味で使う。

例5) I wrote the report **using the actual test data**. 私は実際の試験データを使ってその報告書を書いた。

この文の場合、現在分詞(using)が名詞(report)の直後にありますから形容詞的用法かな? -と思うかもしれませんが青字部分の意味から動詞(write)を『どのように書いたか』を説明していると判断をします。このように動詞を説明するように使う事を副詞的用法と言います。

例6) I always drive a car **listening to my favorite music**.

私はいつもお気に入りの音楽を聴きながら車の運転をします。

過去分詞の活用法

次に過去分詞です。過去分詞とは全ページの上段に示すように各々の動詞によって独自の形を持つ言葉で形容詞または副詞として使う事が出来る単語です。現在分詞のように名詞として使う事は出来ません。

★ 形容詞的用法 (過去分詞を形容詞として使う)

名詞の直前、あるいは直後に置いてその名詞を説明する形容詞として使う (現在分詞と同じ)

例1) I found **a broken window**. 私は壊れた/壊された窓を見つけました。

例2) I saw a window, broken by the strong wind. 私は強風で壊れた/壊された窓を見つけました。

前のページ、例1)のように名詞(window)を説明する形容詞が一語(broken)の場合は名詞の直前に置きますが、例2)のように二語以上(broken by the strong wind)の場合は名詞の直後に置きます。名詞とそれを説明する形容詞は決して離さず前後どちらかに隣り合わせに置かなくてはなりません。- この点は現在分詞の形容詞的用法と同じですね。

★ 副詞的用法 (過去分詞を副詞として使う場合) [*副詞とは動詞と形容詞を説明する言葉]

主に、動詞の後に、あるいは動詞+目的語の後に置いて副詞の意味で使う

例3) He finally stood up, supported by his wife. 彼は妻に支えられてようやく立ち上がった。

例4) The boy came back home, covered by mud. その少年は泥まみれになって家に帰って来た。

いかがでしたか？このように現在分詞は名詞/形容詞/副詞として、過去分詞も形容詞/副詞として頻繁に使われますのでしっかり覚えておきましょう。では次に現在分詞と過去分詞の使い分け - どんな場合は現在分詞を使い、どんな時が過去分詞なのか・・・ここまでの例文を見てなんとなくお解りだとは思いますがご説明します。

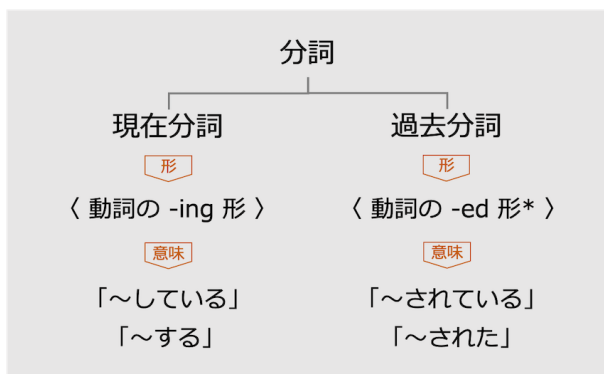
現在分詞と過去分詞 - どっちを使えばいいの？

現在分詞と過去分詞両方とも形容詞、あるいは副詞として使える事がご理解頂けたと思いますので、次にどういう時にどちらを使えばいいのか説明します。

その文章の意味によって使い分ける必要があります。

★ 形容詞的用法の場合

下の図が示すように、現在分詞は説明を受ける名詞が(自ら)能動的に[～している/～する]場合に使用し、過去分詞は説明を受ける名詞が受動的に[～される/～されている]場合に使用する。



*-edの形ではない過去分詞もたくさんあります
例えば、broken/written/driven/made など…

例1) I saw a sleeping boy. 私は眠っている少年を見た。[少年は自ら眠る行動をとっているから現在分詞]

例2) Look at the man playing soccer. サッカーをしている男性を見てごらん。[男性が自らサッカーをしているので現在分詞]

例3) There is a broken watch. 壊れた時計があります。[時計は壊されたのであって自ら壊れたわけではない-だから過去分詞]

例4) I had a letter written by my mother. 母が書いた手紙を受け取った。[手紙は母によって書かれている-だから過去分詞]

★ 副詞的用法の場合 [*副詞とは動詞と形容詞を説明する言葉]

形容詞的用法の場合と同じように、動詞の主語が能動的に[～している/～する]の場合は現在分詞、反対に受動的に[～されながら/～してもらって]の場合は過去分詞を使用する。

例5) I waited for the bus reading a book. 私は本を読んでそのバスを待った。[私自身が本を読んだのだから現在分詞]

例6) He made a comeback, supported by many people. 彼は多くの人に支えられてカンバックと遂げた。

[彼は多くの人に支えられたのであって支えた側ではないので過去分詞]

以上で現在分詞と過去分詞の活用法の説明は終わりです。機会を見つけて実際に会話で使って練習を重ねていってください。習うより慣れよう!!!- です。